

東日本大震災被災地ボランティア等支援事業に消防団員が参加しました。

東日本大震災被災地ボランティア等支援事業大阪府実行委員会（大阪府、財大阪府消防協会、(NPO)南大阪地域大学コンソーシアム、(社)大阪府専修学校各種学校連合会、(福)大阪府社会福祉協議会、大阪府生活協同組合連合会で構成）が、活動内容を被災地に提案し、現地とのマッチングを図り、ニーズに迅速に対応した多様な人材を派遣している支援事業に、大阪府内11団から選ばれた消防団員18名が参加しました。

この事業は、東日本大震災における被災地へのボランティア派遣等を実施し、そのノウハウを蓄積するとともに、多様な支援メニュー及びボランティアパッケージの開発と、被災地支援を通じて新しい公共の発展に貢献し、府民のボランティアに関する意識啓発及びNPO団体の発展の促進を目的としています。

平成23年12月2日（金）に大阪をバスで出発し、翌3日（土）午後より岩手県釜石市の仮設住宅にて、AEDと人形を使用した実演の救命講習、消火器操作講習などを行いました。

翌日は、釜石市消防団長に発災当時の状況等について意見交換させていただき、その後、釜石市消防署副署長より被害状況や当時の状況などの説明をいただきながら被災地の視察を行いました。

[活動模様]

